

『野澤理紗さんは、最新鋭のマルチパラメータ・フェイズドアレイ気象レーダー（MP-PAWR）を用いて孤立積乱雲のセル内部における降水コアの時間発展を解析した研究を発表した。MP-PAWRの高速走査機能により、従来のレーダー観測では把握することが難しかった降水コアの急激な変化を立体的かつ詳細に描き出し、地上・高層観測データや降ひょう目撃情報等と組み合わせて積乱雲の発生・発達を議論した。観測データを適切に取り扱い、その解釈は合理的・論理的であった。詳細な観測データに基づく分析は説得力があり、示唆に富む内容であった。今後更なる成果を大いに期待させる。以上の理由から、野澤理紗さんを令和元年度日本気象学会中部支部長賞に選定した。』